

附属幼稚園だより 第13号

令和2年10月14日発行 文責：室野 亜津子

「したい 知りたい やってみよう」が
いっぱい幼稚園

ハロウィンデー

秋の風が吹くと、幼稚園の中でもおくんちごっこ、お祭りごっこで盛り上がるのが例年のことでしたが、残念ながら今年はまだその波は来ていないようです。

その代わりに、今年は教育実習生と一緒にハロウィンごっこを楽しむことにしました。

実は、今年度もちつき会を中止にすると決めたことで、何か代わりになるお楽しみはないかと考えていました。また、もちつき会で使っていた経費を何らかの形で子どもに還元したいと思っていました。

そこで、今年度に限りハロウィンごっこを企画しました。魔女（園長）からもらったお菓子を持ち帰ります。できるだけアレルギーに注意して選んだつもりですが、今一度成分をお確かめのうえ、お子様に食べさせてください。

○芋けんぴ

原材料	さつま芋（国産）、砂糖、植物油脂、オリゴ糖
-----	-----------------------

○ラムネ菓子

原材料	砂糖、コーンスターチ（遺伝子組換えでない）、ばれいしょでん粉（遺伝子組換えでない）、デキストリン / 酸味料（クエン酸、酒石酸）、重曹、香料、ブドウ果汁色素、アナトー色素、赤キャベツ色素、クチナシ青色素
-----	---

○ゼリー

原材料	ぶどう糖果糖液糖、果汁（リンゴ、ストロベリー、グレープ、パイナップル、オレンジ、メロン） / ゲル化剤（増粘多糖類）、リン酸二水素カリウム、酸味料、香料、調味料（アミノ酸等）、着色料（赤40、黄5、黄4、青1）、乳化剤、（一部にりんご・オレンジを含む）
-----	--



幼稚園教育 その2

その1では「幼稚園教育において育みたい資質・能力」について記載したので、その2では「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について紹介します。

幼稚園で、幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることによって、「幼稚園教育において育みたい資質・能力」が育まれると、次に示すような姿が見られるようになります。その2では10の姿のうち、半分紹介します。

(1) 健康な心と体

幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

(2) 自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

(3) 協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

(4) 道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、決まりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

(5) 社会生活との関わり

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気づき、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

このような姿は、特に5歳児後半に見られます。とは言っても、子どもの育ちはそれぞれですから早くから見られる子どももいれば、1年生になって見られる子どももいます。(その3に続く)